

## 夢洲の湿地は野鳥の楽園！

文 加賀 まゆみ(夢洲生きもの調査グループ、理事)  
写真 夢洲生きもの調査グループ

2021年7月11日、毎日曜ごとに通っている夢洲で、まさに夢のような光景を目撃した。埋め立ての進む2区の湿地に、おそらく3,000羽を超える数のコアジサシ！ 湿地の中の陸地と言う陸地に所狭しと並んでいる。時折、何百羽単位で飛びあがり旋回する。これは、10年前にも何年か続けて夢洲で見られたという渡りの前の大集合なのだろうか？ その前週の動画には、コアジサシのヒナが何羽か飛ぶ練習をしている姿が確認されているが、その時は全体が200羽程度で、夢洲の砂礫地にいたコアジサシが湿地に移動して過ごしていると思われた。この大集合コアジサシの中には、夢洲で生まれ、飛ぶ練習をしていたあのコアジサシも混ざっているに違いない。

次の日曜にはコアジサシは数羽だけになっていた。猛禽3羽が旋回していたので、どこかに避難しているのかも思ったが、その後もコアジサシの大集団をみることはなかった。保護エリアに設置した自動カメラの録画からも、16日を境にコアジサシの気配がなくなっていた。大阪湾中のコアジサシが集まったかのような、あの大集団を夢洲で見ることができたのは、ほんの数日間だけだったのかもしれない。今年は大阪港湾局の多大な協力があり、これで数を減らさず一年乗り越えられたか、と感慨深い。それとともに、

フィールドには足しげく通うことの大切さをつくづく感じる。

コアジサシがいなくなった7月18日、がらんとした湿地に、今度は子連れセイタカシギがあっちにもこっちにもいるではないか。ちいさなヒナの家族、かなり大きくなったヒナの家族、おとなと同じ大きさまで成長した兄弟たち…。実は6月22日にセイタカシギの交尾を確認している。その後、コアジサシの中に、ヒナを連れているセイタカシギも確認していた。湿地に続くヨシ原は、格好の保育園。ヒナはしっかり守られている。

セイタカシギは、長い脚でたたずむ姿の美しさから「水辺の貴婦人」と例えられる鳥。環境省UV(絶滅の危険性が增大している種)に指定されていて、日本国内では東京湾・三河湾で繁殖しているが、関西では散発的な繁殖記録しかない。しかも繁殖成功率はとても低いそうだ。数家族がそれぞれ4羽の元気なヒナを連れている、という今年の夢洲での事例は、国内ではかなり貴重な記録になるかもしれない。

8月22日、工事中の土砂の山にうまく飛べないチョウゲンボウがいた。2羽のチョウゲンボウが煽るようにそばをかすめるが、ちょこっと飛んではすぐ地面に降りる。幼鳥に飛ぶ訓練をしている

ファミリーだろうか。チョウゲンボウもどこか近くで繁殖していたのかもしれない。

このように、予期せぬ形で、夢洲は数々の野生のドラマを見せてくれる。この環境が大阪湾を一時の住まいとする野鳥たちの生存を大きく支えていることは確かだ。

6月25日、大阪市立自然史博物館から発信された、大阪で絶滅とされていた水草「カワツルモ」発見のニュースは、その後も新聞やテレビに取り上げられ、夢洲2区の湿地の重要性の認知度は上がってきた。しかしこの湿地は2025年万博のために埋め立てられつつある。北側の夢洲3区はIR予定地ではすでに土地造成工事が終わっていたのに、そこの土をまた掘り返して、2区へ運び、この湿地を埋め続けている。一部コアジサシの保護エリアにしていたところも、巣立ちが確認されるやいなや、すぐ工事が再開された。こうしてわずか半年のイベントのために、貴重な野生生物の棲みかが失われてゆく。

私たちは2018年「市民からの環境アセスメント(方法書)提案」というワークショップの見学会で偶然コアジサシを見かけたことから、夢洲での生きもの調査やコアジサシ保護へと邁進してきた。今回、大阪市や港湾局並びに国際博覧会協会は土地開発工事の前にするべき「環境影響評価(環境アセスメント)準備書」の提示をせ

ぬまま、この貴重な湿地を埋めてしまおうとしている。人工的な水辺を作る計画らしいが、現在のよう生物多様性に富む自然を人為的に作り上げるのは難しい。SDGs万博を掲げているならば、なおさら、自然をつぶして、自然らしい演出を作るというのは疑問だ。是非この素晴らしい自然環境を、万博中も残して、私たち人間に野生のドラマを見せてほしいと願う。

私たちは現在、2年間の生きもの調査の集大成として、「私たちの環境影響評価準備書への提案」を作成し要約版を公開し、夢洲の生きもの記録写真をホームページでご覧いただけるよう、準備を進めています。また、この湿地とヨシ原の保護を、ネット署名で各方面に呼びかけているので、ぜひご協力をお願いします。

詳しくは、協会ホームページ「夢洲の未来の自然環境のために」をご覧ください。

<http://www.nature.or.jp/action/yumeshimamirai/>  
また、ネット署名「生きもの楽園となっている夢洲のヨシ原や湿地を、SDGs万博のために残してください」をよろしくお願いいたします。  
<https://chng.it/tSrpXYB2>



ネット署名 Change.orgサイトへ



写真-1 コアジサシの大集合 (7月11日)



写真-2 セイタカシギの交尾(6月22日)



写真-3 セイタカシギのヒナ(7月18日)

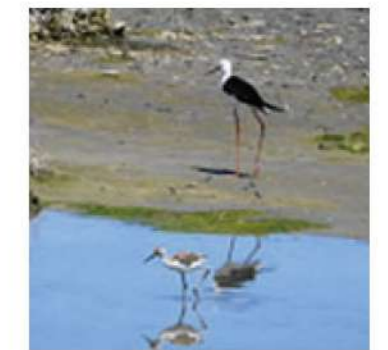


写真-4 セイタカシギの親子(7月22日)